

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスかがやき		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23世帯	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実	5領域に沿った活動を提供。他者との協働、体力トレーニング、社会参加活動等、将来必要となる力を伸ばすことを目的としつつ、皆で楽しく参加出来る活動を提供。	より専門的な活動を実施できるよう、情報収集や専門家からの助言を受ける等活動の質向上を図る
2	ライフステージ移行に向けた情報提供、支援体制	高学年(中学生～高校生)の利用が多いため、ライフステージ移行を迎えるに当たって必要な情報提供、相談対応を本人、保護者双方に行う。	学校や相談支援事業所等、他の関係機関と連携した支援を行う
3	様々な交流活動	併設する高齢デイとの交流を実施。また他の放課後等デイサービス事業所や就労移行支援事業所との交流、見学等を不定期に行い、様々な人との交流機会を提供している。	現状では不定期実施となっているため、これから定期的かつ計画的な開催を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定員に対する利用ニーズ超過	定員10名に対して、それを超える利用希望を頂いており、一定数お断りしている。	利用頻度の最適化を行い、それぞれのニーズに答えられるよう調整を行う。必要に応じて他サービスとの併用を提案する。
2	高校生利用児童の頻度調整	上記、定員に対する利用ニーズ超過による調整に関連し、年齢が上がると、「自宅で過ごせる」「留守番ができる」という理由から、利用頻度にご協力を頂いている。しかしながら、卒業を控えた利用児童に対して、将来に向けた支援や相談対応を定期的に行っていない現状がある。	他の福祉サービスや関係機関と連携を行い、卒業後を見据えた支援を行いました。事業所利用以外でも相談対応出来る体制を整える
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ともみデイサービスかがやき

公表日 2026年2月1日

回収数 20 (86.9%)

利用児童数 23名 (2025年12月1日現在)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	0		環境整備を徹底し、利用児童が快適に過ごせるよう、維持、管理しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2	0	0	・もっと職員が多いと安心できる	兼務職員と合わせ、事業所運営をおこなっています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	0		時間や場所、ホワイトボードやモニターを使い、環境を分けることで子どもたちの場面の切り替えができるようにしています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0		毎日環境整備を丁寧に行っています。子どもたちが安心して快適に過ごせるように、これからも環境整備に努めます
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0		傾聴を心がけ、子どもたちの行動・言動の目的、ニーズを引き出せるよう心がけています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0		楽しく学ばせ、経験するをモットーに、今後も活動を計画・実施する。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		職員全員で協議しながら個別支援計画の作成を行っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	0	・卒業後を考えた助言や情報提供があるため、参考になります	同上
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		計画の策定見直しを定期的に行い、子どもたちそれぞれの課題について個別に対応を行います
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	0	0	0	・色々な活動を行っていて楽しそう ・日頃運動をする機会がないので、事業所で体を動かしてくれと嬉しい。	今後も様々な活動を提供できるよう職員で話し合いたいと思います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	4	3	0	いろいろな経験をさせたいと思うが、トラブルにならないか心配	他の放課後デイサービスや就労支援事業所、併設する高齢デイサービスとの交流を行い、他者と関わる機会を提供しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		契約時や変更があった際に説明を行なわせていただいています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		同上
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	3	0	0	研修会を受けたいと思うが、忙しくて何度も通うことは難しい。	モニタリング面談時に進路相談やご家庭での過ごし方と個別の相談を行う。今後はペアレントトレーニングの要素を含んだ研修会を開催予定
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	0		送迎時や連絡帳を介して、日々の様子を伝えていきます。検討事項があれば、電話連絡または直接対面にて報告協議を行います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	0	0	相談できる機会があるとありがたい	年間2回の面談を設けています。個別の相談等は別に機会を設け、相談対応を行います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0		子ども、保護者の立場に立って支援を行います。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	6	6	0	保護者会よりは、時々保護者同士で話が出来る機会があると良いと思う。	保護者会は設置していない。保護者参加型のイベントを開催予定。(25年度は1回開催)
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	0	0	0		子どもや保護者が安心して相談ができるよう、関係づくりや雰囲気づくりを心がけています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0	一人一人の状況や特性に配慮した意思の疎通、伝達を心がけてみます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	0	0	0	SNS発信、いつも楽しみにしています 日々の様子は連絡帳にてお知らせを行い、実際の様子（写真）はSNSに活動の写真を上げて、今後も共有していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0	個人情報の取扱いには十分気をつけ、職員間でも常に確認を行っています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	0	0	0	各種マニュアルを作成し、職員間での訓練を実施。契約時に保護者に説明し、更新や変更があった場合にもお知らせをします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	0	0	月に1回程度避難訓練や不審者対応訓練を実施しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	0	契約時または計画の変更が行われた際に報告をしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	0	今年度、大きな事故は発生していません。事後が発生した場合は速やかに連絡を行い、状況説明を行う
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	安心安全を提供できる関係性、支援を心がけています
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	0	子どもと話をしないからわからない 全員が通所を楽しみにしてくれるような支援活動提供を行います
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	いつもご利用ありがとうございます。これからも満足していただけるよう、職員一同努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもデイサービスかがやき				公表日	2026年 2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	十分なスペースを確保出来ている。併設する高齢デイサービスともスペースを共有している。	施設の維持、管理を継続
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	兼務職員を配置し、適切な支援が行えるよう研修参加やOJTを通して専門性を高める	あと数名職員がいるともっと出来るが増える。業務の効率化、人材確保に努める
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	児童の特性に合わせて、ホワイトボードやモニターを使い、文字や絵を用いて説明をしている。	児童の特性に応じて不自動の特性に応じて改善が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	日頃より清掃メンテナンスを徹底して行っている	児童の特性に応じて不自動の特性に応じて改善が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	個室がいくつかあるため、児童の状態に合わせて個別にマンツーマンの相談対応等を行うことができる。	児童の特性に応じて不自動の特性に応じて改善が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	PDCAサイクルが上手く機能していないことがある。	計画だけで止まらないよう、行動の数を増やし、必要な確認と改善を繰り返す行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者評価の内容を共有し、会議の場を設け、改善につなげる。	保護者評価の中で上がった意見は真摯に受け止め、一つ一つの項目の改善に努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎日の引き継ぎにて情報共有を行っている。月に1回利用者の支援会議を行い、課題と支援の方向性を協議している。	より活発な意見ができるよう、心理的安全性を高める
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	・第三者委員会を設置し、毎月ご意見をいただき業務改善に繋げている	継続する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	研修参加を推奨し、学習する集団を目指す。法人内研修等、職員の職種、職責に応じた研修を実施。	様々な研修の情報提供を行う
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ホームページにて公表。プログラムの変更がある際には更新	定期的な見直し、更新を行います
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	児童保護者との面談を通し、保護者のニーズを確認し、職員間で話し合い、計画を策定している。	継続する
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	全職員で策定会議を行っている。児童の状況によっては、学校の先生や相談支援専門員にも同席を依頼している。	継続する
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	計画に沿った支援が行えるよう、普段から計画内容を確認できる仕組みを作っている。	計画に沿った支援を行えるよう更に改善、仕組み化する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	日々のケース記録に加え児童との何気ない会話、保護者や学校からの相談を記録にまとめ、双方からアセスメントを行う。	個人情報に配慮しつつ、様々な情報端末を使い、児童の様子等を記録、分析を行う
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	本人ご家庭個々の状況に合わせた支援目標を立てている。	支援目標の設定は、全職員が意見を出し合い、児童、ご家庭の状況と合わせて議論して設定する
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	指導案を作成し、事前の確認、実施後の反省を行っている。	継続する

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	必要に応じてシリーズ化を行っている活動もあるが、マンネリ化しないよう内容の見直し、バージョンアップを行う。	現状に満足せず、情報収集を行い、新たな活動を提供する
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	集団行動における社会性へのアプローチと個々の能力、課題へのアプローチを分けて支援を実施	継続する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎日の児童来所前と帰宅後に引き継ぎ情報共有を欠かさず行っている。	引き継ぎした内容を明確に記録し、1ヶ月ごとの分析を行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援の振り返りを行い、記録を取り、共有している。その都度アクションプランを検討。	引き継ぎした内容を明確に記録し、1ヶ月ごとの分析を行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	利用時は毎日記録を行い、1ヶ月ごとの集計分析を行い、改善につなげる。	膨大な記録を集計分析するための情報機器を活用する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	基本的には半年に1回の見直しを行う。大きな変化（環境や本人の状態）がある場合は、その都度モニタリング・見直しを行う。	継続する
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1	4つの基本活動を意識した支援を実施。地域交流の活動が不足しているように感じている	ガイドラインの4つの基本活動等に関する勉強会を行い、周知徹底を図る
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	様々な場面において児童が自身で選択できるよう、必要な情報提供を行い、自己決定を促している。	継続する
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	基本的には児童発達支援管理責任者が参加、児童によっては担当職員が参加する場合もある。	継続する
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	必要に応じて学校、対事業所と連携して支援を行っている。	継続する
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	その都度、情報共有、連絡、調整を行っている	継続する
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	小学5年生以上を利用対象としているため、子ども園等との情報共有は少ないが、それまで利用していた事業所や学校との情報共有は積極的に行っている。	継続する
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	基本的には移行支援会議に参加するようにしている。	継続する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	児童発達支援センターの主催する研修には積極的に参加している。	継続する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	児童館等との交流は行っていない。他の放課後等デイサービスや併設する高齢デイサービスとの交流を行っている。	様々な属性の対象者と交流できる機会を提供する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	職員が自立支援協議会児童部会の部会長を行っている。部会の内容によっては、他職員も参加するよう心がけている。	積極的に参加する
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時、電話、その他の連絡ツールにて情報共有、保護者様の気持ちを聞いている。	継続する
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	個別面談時に家庭での悩み等に対する相談助言等を行っている。	・研修会の開催を検討	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時や変更があった際に個別に説明を行う	継続する
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	児童、保護者のニーズの聞き取りには力を入れている。傾聴を心がけ、意思決定支援を重点的に行う。	継続する
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	半年ごとのモニタリング・保護者面談時に説明を行い、同意を得ているか。	継続する

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	保護者が相談しやすいよう、日頃からコミュニケーションを心掛けている。進路相談やご家庭での子育ての悩みとその都度助言を行う。	継続する
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者会の開催は行っていない。保護者や兄弟児も参加できるイベントを開催。	参加型イベントの開催数を増やし、保護者会とは異なる形で自然とご家庭同士の緩やかなつながりができるよう、機会を提供する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情があった場合は管理者を中心に、事実確認と対応を行う。月に1度、苦情解決委員会を実施。	継続する
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	SNSにて定期的に活動内容を発信している	継続する
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個別の個人の情報は、職員以外の耳に入らないよう十分気をつけて話し合いを行う。書類等に関しては事務所で徹底管理をしている。	継続する
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	必要に応じて児童、保護者にとって最適なツールを活用して情報伝達を行っている	継続する
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	地域住民の方を招待するような行事の開催は今年度は行っていない。地域に開放された行事に参加	継続する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルを作成し、契約時または変更があった際に説明をしている。	継続する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	月に1回以上避難訓練を実施し、児童に対して学習会を行う。	継続する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時にアセスメントシートを活用して保護者に確認	継続する
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	同上。現在個別対応が必要な対象はない	継続する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を策定、契約時または変更時に説明をしている。計画に基づき訓練、研修を実施している	継続する
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	契約時または変更時に説明をしている	継続する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	職員会議時に共有。必要に応じて対策を検討	継続する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	全職員が研修を受講している	継続する
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	現状は身体拘束に該当する行為はないが、今後発生する可能性がある。	身体拘束に関する研修や発生時の訓練、対応方法の周知、徹底する。	